



令和3年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年9月30日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 7485 URL <https://www.okaya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡谷 篤一  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部企画部長 (氏名) 中島 孝次 (TEL) 052-204-8133  
 四半期報告書提出予定日 令和2年10月15日 配当支払開始予定日 令和2年10月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年2月期第2四半期の連結業績(令和2年3月1日~令和2年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年2月期第2四半期	364,663	△17.9	4,914	△48.5	7,481	△38.1	4,954	△42.0
2年2月期第2四半期	444,188	△2.9	9,536	△5.2	12,095	△0.9	8,534	3.3

(注) 包括利益 3年2月期第2四半期 2,050百万円(77.4%) 2年2月期第2四半期 1,155百万円(△57.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年2月期第2四半期	514.65	—
2年2月期第2四半期	886.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年2月期第2四半期	439,834	220,136	47.8
2年2月期	494,089	219,451	42.4

(参考) 自己資本 3年2月期第2四半期 210,324百万円 2年2月期 209,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年2月期	—	110.00	—	120.00	230.00
3年2月期	—	110.00	—	—	—
3年2月期(予想)	—	—	—	115.00	225.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 令和3年2月期の連結業績予想(令和2年3月1日~令和3年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	770,000	△12.1	13,000	△31.7	16,000	△30.5	10,000	△36.2	1,038.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年2月期2Q	9,720,000株	2年2月期	9,720,000株
② 期末自己株式数	3年2月期2Q	94,166株	2年2月期	94,096株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	3年2月期2Q	9,625,890株	2年2月期2Q	9,626,019株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考資料	9
(1) 売上高のセグメント別内訳	9
(2) 取引形態別売上高内訳	9
(3) 人員の推移	9
(4) 設備投資額並びに減価償却費	9
(5) その他補足資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済及び日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で経済活動が停滞し、景気が急速に悪化しました。このような状況下において、当社も当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,646億63百万円で前年同期比17.9%の大幅な減収となりました。

損益につきましては、売上総利益が241億58百万円（前年同期比20.9%減）、営業利益が49億14百万円（前年同期比48.5%減）、経常利益が74億81百万円（前年同期比38.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億54百万円（前年同期比42.0%減）となりました。

これを事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

## (鉄鋼)

鉄鋼部門は、鋼材需要の落ち込みにより、建材関連や製造業向けが減少しました。

特殊鋼部門は、自動車・産機・工作機械等の減産の影響を受け、国内外で販売が大幅に減少しました。

海外は、一部輸出の増加はあったものの、米国及びアジア向けを中心に減少しました。

鉄鋼セグメントの売上高は、1,497億85百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

## (情報・電機)

非鉄金属部門は、自動車用部品の減少とエアコン部品用材料の不振に加え、銅・アルミ市況の下落もあり減少しました。

エレクトロニクス部門は、パソコン・通信機器関連製品及び半導体等が増加しましたが、FA・設備機器及び車載部品が減少しました。

情報・電機セグメントの売上高は、752億78百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

## (産業資材)

化成品部門は、自動車関連や住設向け樹脂原料が減少しました。

メカトロ部門は、自動車・工作機械等の減産の影響を受け、部品・工具・設備等が減少しました。

産業資材セグメントの売上高は、1,130億97百万円（前年同期比23.2%減）となりました。

## (生活産業)

配管建設部門は、住宅機器向け部材が増加しましたが、エネルギー関連及び配管機材類がともに減少しました。

食品部門は、水産物及び鶏肉の輸入取引が減少しました。

生活産業セグメントの売上高は、265億2百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,398億34百万円となり、売上債権の減少などにより前連結会計年度末に比べて542億54百万円減少しました。

負債は2,196億97百万円となり、仕入債務の減少などにより前連結会計年度末に比べて549億39百万円減少しました。

純資産は2,201億36百万円となり、その他有価証券評価差額金の減少はありましたが、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べて6億85百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年2月期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により業績予想の合理的な算定が困難であったため予想値の公表を見送っておりましたが、現時点で入手可能な情報及び予測等に基づき業績予想を算定いたしました。

当社グループの令和3年2月期の連結売上高は7,700億円、営業利益130億円、経常利益160億円、親会社株主に帰属する当期純利益は100億円を見込んでおります。

詳細につきましては本日付で公表した「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,660	13,691
受取手形及び売掛金	188,755	144,325
電子記録債権	35,010	26,694
商品及び製品	57,657	54,833
仕掛品	4,786	7,066
原材料及び貯蔵品	1,421	1,441
その他	10,112	9,213
貸倒引当金	△642	△552
流動資産合計	311,762	256,714
固定資産		
有形固定資産	39,868	42,837
無形固定資産	1,577	2,034
投資その他の資産		
投資有価証券	117,724	115,044
その他	23,437	23,483
貸倒引当金	△281	△278
投資その他の資産合計	140,880	138,249
固定資産合計	182,326	183,120
資産合計	494,089	439,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,160	71,853
電子記録債務	24,466	14,835
短期借入金	75,979	63,805
未払法人税等	2,676	1,869
賞与引当金	1,355	1,289
その他	11,712	13,023
流動負債合計	221,350	166,676
固定負債		
長期借入金	20,966	21,204
繰延税金負債	25,741	25,107
役員退職慰労引当金	911	930
退職給付に係る負債	2,209	2,265
その他	3,457	3,512
固定負債合計	53,287	53,021
負債合計	274,637	219,697
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	142,646	146,444
自己株式	△467	△467
株主資本合計	159,105	162,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,068	46,469
繰延ヘッジ損益	66	△34
為替換算調整勘定	142	△790
退職給付に係る調整累計額	2,053	1,776
その他の包括利益累計額合計	50,330	47,420
非支配株主持分	10,015	9,812
純資産合計	219,451	220,136
負債純資産合計	494,089	439,834

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年3月1日 至令和2年8月31日)
売上高	444,188	364,663
売上原価	413,635	340,505
売上総利益	30,553	24,158
販売費及び一般管理費	21,016	19,243
営業利益	9,536	4,914
営業外収益		
受取利息	735	616
受取配当金	2,120	1,807
持分法による投資利益	252	72
その他	703	953
営業外収益合計	3,812	3,450
営業外費用		
支払利息	966	684
手形売却損	10	8
その他	275	191
営業外費用合計	1,253	883
経常利益	12,095	7,481
特別利益		
固定資産売却益	5	106
投資有価証券売却益	14	6
関係会社株式売却益	117	—
特別利益合計	136	112
特別損失		
固定資産処分損	6	0
投資有価証券評価損	14	55
関係会社整理損	143	—
操業休止関連費用	—	176
その他	—	2
特別損失合計	165	235
税金等調整前四半期純利益	12,066	7,358
法人税、住民税及び事業税	3,157	2,262
法人税等調整額	2	92
法人税等合計	3,160	2,355
四半期純利益	8,905	5,003
非支配株主に帰属する四半期純利益	371	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,534	4,954



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年3月1日 至令和2年8月31日)
四半期純利益	8,905	5,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,335	△1,582
繰延ヘッジ損益	△76	△100
為替換算調整勘定	△1,065	△691
退職給付に係る調整額	△324	△280
持分法適用会社に対する持分相当額	52	△297
その他の包括利益合計	△7,750	△2,953
四半期包括利益	1,155	2,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	858	2,044
非支配株主に係る四半期包括利益	296	5

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成31年3月1日至令和元年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	178,080	89,230	147,302	29,575	444,188	—	444,188
セグメント間の内部売上高 又は振替高	453	1,209	649	711	3,023	△3,023	—
計	178,534	90,439	147,951	30,286	447,212	△3,023	444,188
セグメント利益	1,805	1,621	4,721	1,222	9,371	165	9,536

(注)1. セグメント利益の調整額165百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自令和2年3月1日至令和2年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	149,785	75,278	113,097	26,502	364,663	—	364,663
セグメント間の内部売上高 又は振替高	302	1,428	186	701	2,619	△2,619	—
計	150,087	76,707	113,284	27,204	367,283	△2,619	364,663
セグメント利益	774	997	1,596	1,018	4,386	527	4,914

(注)1. セグメント利益の調整額527百万円は、主に報告セグメントに帰属しない退職給付関連損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 参考資料

## 令和3年2月期 第2四半期決算関係参考資料

(1) 売上高のセグメント別内訳 (当第2四半期累計実績 及び 通期予想)

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	前第2四半期累計実績			当第2四半期累計実績			通期予想		
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
鉄 鋼	178,080	40.1	△6.2	149,785	41.1	△15.9	318,000	41.3	△7.9
情報・電機	89,230	20.1	△7.0	75,278	20.6	△15.6	164,000	21.3	△7.7
産業資材	147,302	33.2	3.4	113,097	31.0	△23.2	230,000	29.9	△21.1
生活産業	29,575	6.6	1.3	26,502	7.3	△10.4	58,000	7.5	△4.8
合 計	444,188	100.0	△2.9	364,663	100.0	△17.9	770,000	100.0	△12.1

(2) 取引形態別売上高内訳

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	前第2四半期累計実績		当第2四半期累計実績		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
国 内 取 引	312,288	70.3%	250,412	68.7%	△61,876	△19.8%
海 外 取 引	131,900	29.7%	114,251	31.3%	△17,649	△13.4%
合 計	444,188	100.0%	364,663	100.0%	△79,525	△17.9%

(3) 人員の推移

【連結】

(単位：千円、単位未満切捨て)

	前第2四半期	当第2四半期	増 減
期 末 人 員	5,131名	5,174名	43名
従業員一人当たり 売 上 高	86,569	70,480	△16,089
従業員一人当たり 当 期 利 益	1,663	957	△706

(4) 設備投資額並びに減価償却費 (当第2四半期累計実績 及び 通期予想)

【連結】

(単位：百万円、単位未満切捨て)

	当第2四半期累計実績	通期予想
設 備 投 資 額	5,322	7,750
〈主な内容〉		
物流倉庫 増改築等	2,913	2,950
賃貸用資産・設備	251	860
事務所設備	20	90
工場設備 (海外)	129	330
工場設備 (国内)	579	920
金型	483	840
システム関連	761	1,270
車両運搬具	30	80
その他	156	410
減 価 償 却 費	1,664	3,960

## (5) その他補足資料

## ◇◇◇株主優待のお知らせ◇◇◇

## 【一般株主向け優待】

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
愛知県産米	200株以上	8月末	10月下旬
山の幻ミネアサヒ 5kg	100株以上	2月末	4月下旬

## 【長期保有株主向け優待】(※)

優待内容	保有株式数	権利確定日	発送時期
図書カード 1,000円相当	100株以上	8月末	10月下旬
図書カード 2,000円相当	100株以上	2月末	4月下旬

※一般株主向け優待に加え、半期毎(8月末及び2月末)に発行される最終株主名簿に、同一株主番号で連続6回以上記載されていることを条件として贈呈。発送は通常の株主優待とは別送となります。

## ◇◇◇当第2四半期累計期間のトピックス◇◇◇

当第2四半期累計期間に、新たに展開した事業及び主な出来事をご紹介します。( )内は公表年月

- ◎ 六合エレメック株式会社によるタイ現地法人設立(令和2年1月)  
当社子会社の六合エレメック株式会社は、3月にタイ国バンコク市に「ROKUGO ELEMEC (THAILAND) CO., LTD.」を設立しました。タイ国内及び周辺国においてユーザーに密着した営業活動を強化し、メーカー機能を有する商社として産業用電気・電子機器の販売拡大を図っています。
- ◎ 岡山営業所開設(令和2年2月)  
当社は、岡山県周辺及び山陰地区並びに四国地区における自動車・プラント関連分野等のビジネス拡大のため、3月に新たに岡山営業所を開設しました。
- ◎ 名古屋市港区空見町の土地取得(令和2年3月)  
当社は、名古屋市港区空見町に約 6,495 坪の土地を取得しました。今後、新たな物流基地等としての活用を検討します。
- ◎ 名古屋大学オープンイノベーション拠点(OICX)に対する寄付(令和2年6月)  
当社は、産学連携による地域活性化並びに学生ベンチャーの支援・育成を目的に平成 29 年6月に開設した本拠点に対して、拠点開設時に引き続き、今後の運営活動費の寄付を行いました。
- ◎ チャリティーコンサート開催(令和2年6月)  
今回で8回目となります「OKAYA チャリティーコンサート 2020 ～感謝のタベ～」を新型コロナウイルス感染拡大防止のため無観客にて7月に開催し、その模様をテレビ放映及びインターネット配信しました。  
なお、新型コロナウイルスの影響で、日常生活に困難を抱える子どもと家族への緊急支援・協力を含め、当社から合計 300 万円を社会福祉法人中央共同募金会及び愛知県共同募金会に寄付しました。
- ◎ 義援金寄付(令和2年7月)  
令和2年7月豪雨による被災者に対する義援金として、グループ会社とともに 100 万円を社会福祉法人愛知県共同募金会に寄付しました。また、当社社員向け保養所があります長野県木曾町に対しても、10 万円を寄付しました。

以上